

『荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)』の整備のあり方を考えるワークショップを開催

「ラムサール登録湿地」に登録された、私たちの“宝の海”『荒尾干潟』。

この“宝の海”をいつまでも守っていくための基本的な取組のあり方について、干潟に関わる市民・事業者・行政が協働して、平成 25 年度に『荒尾干潟ワイズユース計画』としてとりまとめました。

さらに、この計画に基づき、干潟の保全・利活用の拠点となる施設(『荒尾干潟水鳥・湿地センター(仮称)』)の基本的なあり方と、そこでの“干潟の魅力”の伝え方について、平成 25～26 年度にかけ『利用拠点施設整備構想』と『展示計画』の構想・計画をとりまとめました。

これらの構想・計画に基づき、今後整備していく施設が市民と来訪者が集い“宝の海”荒尾干潟を育む“活動と利用の拠点施設”となるよう、本年度は、市民・事業者・行政が協働して整備のあり方について検討する『荒尾干潟 “活動と利用の拠点施設” 整備ワークショップ』を開催し、設計を進めていくこととなりました。

この1回目のワークショップが、11月11日(水)に荒尾市役所会議室で開催され、総勢 30 名の市民と行政関係者(荒尾市, 長洲町, 熊本県)が集まり、熱い議論が交わされました。

■第1回ワークショッププログラム

- 『活動と利用の拠点施設』づくりについて知ろう
- ↓
- 『活動と利用の拠点施設』づくりの仲間とつながろう
- ↓
- 『活動と利用の拠点施設』の使い方について考えよう
- ↓
- 『活動と利用の拠点施設』の使い方の意見を発表しよう

■ワークショップ全体の流れ

第1回ワークショップ

【今回】

<11月11日(水)19:00~21:00 於:荒尾市役所 11号会議室>

テーマ:『“活動と利用の拠点”の使い方を考えよう!』

~拠点施設の機能や空間のあり方について考えます~

第2回ワークショップ

<12月3日(木)19:00~21:00 於:荒尾市役所 11号会議室>

テーマ:『“活動と利用の拠点”での活動を考えよう!』

~拠点施設での活動内容等について考えます~

第3回ワークショップ

<12月17日(木)19:00~21:00 於:荒尾市役所 11号会議室>

テーマ:『“活動と利用の拠点”の整備プランをまとめよう!』

~拠点施設の整備プランの原案をまとめます~

3月上旬頃

基本計画・設計とりまとめ/概要報告

※ニュースレターでお知らせします



■『活動と利用の拠点施設』の使い方に関する意見・アイデアのまとめ

論点		各班の意見・アイデア等 (◆:ハード整備に関するもの ○:ソフト整備に関するもの ※:特記事項等)				
		1班	2班	3班	4班	
施設全体	利活用	—	○年間を通じて利活用できる施設(※渡り鳥の飛来時期以外は体験利用) ○小中学校の干潟学習会	○早朝の楽しみ(※当該施設利用の後、グリーンランド等を利用) ○魅力を発信する施設 ○キーワードは、「子ども」「気軽」 ○干潟保全のための募金システムの創設	○また来たいと思う場所 ○体験活動を軸	
	管理・運営	—	—	—	—	
建物全体	階層	◆1層(※下部ピロティ駐車場)	—	—	—	
	配慮事項	◆バリアフリーに配慮 ◆外部からも景観に配慮しながらも目立ちやすく整備	◆エコモデル施設として整備(※太陽光・雨水利用)	—	—	
建物内部空間	交流機能 (会議・レクチャー等)	※入口部分に展示・運営機能に隣接させ設置	◆野鳥・底生生物に関する学習・調査スペースの確保 ※映像・写真展示 →○四季折々の生物 ※ハンズオン・模型展示 →○主要な野鳥のデコイ・アナジャコ巣穴樹脂型等 ※実物・水槽展示・実験流し台 →○トビハゼ・アシハラガニ等底生生物の飼育 ※干潟各所への可動式Webライブカメラの設置 →○利用者が制御し施設内で観察	※展示・運営機能に隣接させ設置 ※展示・運営機能を担う主要主体のスペースの確保 ◆小規模の貸部屋 ◆図書コーナー ◆学習コーナー ◆ミニキッチン →○運営者・来訪者の共同利用 ◆映像展示(※カーテンで仕切り) ○企画展(※季節時間で変化)	◆ガイド室 →○子供ガイドの実施 ◆多目的レクチャー室 →○工作 ◆物販(ミュージアムショップ) →○お土産販売、漁組による販売 ◆キッチン →○昼食の提供 ◆シャワー・足洗い場 ◆宿泊室 →○ミュージアムナイト ○観光協会による荒尾のPR(※荒尾干潟・万田坑情報、野鳥情報)	
	展示・運営機能 (観光協会)	◆展示機能と統合し、広めのスペースを確保 ◆図書コーナー ◆工作室 ◆調理室 →○マジック調理 ◆水槽展示 →○学校による育てる展示	◆潮汐情報の表示・展示 ※干満のしくみと水位現況を示す模型 ○人材育成拠点(※荒尾高校生徒による研究成果発表) ○ワイズユースの解説 ○図鑑・観察用具等の貸出 ○夕陽を見ながらのコンサート	—	—	
	(野鳥の会)	—	—	—	—	
	(漁協)	—	—	—	—	
	(大学研究機関)(+宿泊室)	—	—	—	—	
	展示機能	※展示・運営機能と統合	—	—	—	
	管理・運営機能 (案内所、事務所、倉庫)	◆救護室	—	—	—	
	便益機能 (シャワー、トイレ等)	※足洗い場はピロティへ	—	◆トイレ	—	
	眺望機能	◆展望室(※小規模で可)	—	○干潟・夕陽等の鑑賞 ◆売店・カフェの整備 →○海産物の調理・試食、地域の土産物の販売 →○かつて食していた底生生物の展示	※別途、敷地北西端に別棟の展望台設置 ◆売店(※「有明の里」サテライト) ◆カフェ(※カフェ利用者に展示等を見せる)	※別途、別棟の展望台・テラスの設置
	その他の機能・施設等	—	—	—	—	
建物外部空間	屋外広場(車寄せ、身障者駐車場、多目的利用)	◆地域の物産物販施設の設置(※賑わいを目に付くようにするため、別棟と北側前面道路に隣接して設置) →○民間協力で運営	◆地域物産展示・販売スペースの整備(※一部野外調理設備の整備) →○荒尾物産市、市民手作り品バザー等	※敷地南側に配置	◆多目的広場とし、仮設(テント等)の飲食・物販設備の設置(※賑わいを目に付くようにするため、北側前面道路に隣接設置) →○朝市(※マジック・塩のり・荒尾グッズ販売、『有明の里』)	
	駐車場	◆ピロティ下 →○休憩・雨しのぎ ◆足洗い場 ※安全のため歩行者と自動車の動線を完全分離	◆団体利用に配慮した駐車場(※計画地以外でも可)	※北西角前面道路に隣接設置	—	
	バックヤード	◆レンタサイクル貸出コーナー →○南荒尾駅にもレンタサイクルを設置して連携	—	—	—	
	その他の機能・施設等	—	◆塩性+淡水池・流れの創出 ◆潮流・風向計・海象温計の設置 →○自然環境の記録	◆別棟の展望台・公衆トイレ・シャワーの設置(※トイレは24時間利用可能) ※北側前面道路に隣接設置、獣魂碑は移設	◆別棟の展望台・テラスの設置(※テラスより浜へスロープでアクセス)	
	敷地外	◆林床整備・観察路 →○野鳥観察・休憩	◆林床の散策路・芝生広場の設置 ◆松林の保全	◆施設と防潮堤とを接続させる空中デッキ、あるいは林床の散策路の設置 ◆松林の保全・植生管理(※雑木伐採・剪定)	◆遊歩道整備	
敷地外	干潟(海)	—	◆周辺散策コースの設定(※干潟のコースも含む) ◆ライブカメラの各所への設置(※野鳥・底生生物を対象) ○模擬ノリ養殖 ○干潟の遊びプログラム(※三輪車レース等)	—	○体験活動(※ノリ摘み、潮干狩り、舟) ○テラーによる干潟遊覧 ○各種眺望利用(※夕陽、星空、島原の花火、潮の干満)、写真スポット(写真コンテスト)	
	防潮堤	○海の美術館PR	◆施設と防潮堤とを接続させる橋+展望室の設置(※望遠鏡の用意) ◆解説サインの改修(※野鳥や夕陽の写真等)	◆堤防上の広場設置・整備(※特例許可必要) ※可動式テラス(ウッドデッキ) ※ハイド(ブラインドルーム、透明コンテナ等) →○鳥・海を眺めながらの休憩・観察 ◆松林・施設と接続させる防潮堤の階段設置	—	
	アクセス路	◆案内サイン整備	◆散策コースの案内サイン・路面表示整備 →○各所の見どころ等の案内 ◆荒尾干潟の案内サインの設置(※国道等主要な道路) ◆大型バスのアクセスを可能とする交差点の改良(※国道からの入口交差点) ○ガイド付き周辺散策コースの設定(※施設から一部漁港・市屋「潮湯」横塩性湿地、荒尾漁協直売所間等。潮湯横塩性湿地では、塩性植物、アシハラガニ、トビハゼ等の観察が可能)	—	◆交差点改良(※国道からの入口交差点)	
	その他	○民泊の推進	◆敷地外における眺望利用のための土地利用の可能性を考慮	—	○市内宿泊施設との連携 ○修学旅行利用の推進	

『活動と利用の拠点施設』の使い方について考える

今回のワークショップでは、これまでとりまとめてきた構想・計画を踏まえ整理した検討のたたき台をベースに、“活動と利用の拠点施設”で「何がしたいか」、また訪れる方々に「何をしてもらいたいか」、さらに、それらのために必要な施設や配慮すべきことは何なのか等を、4つの班に分かれて考え、意見やアイデアをまとめていきました。（※詳細の検討内容は、前頁をご参照下さい。）

■検討のたたき台



■各班の検討成果



有識者の先生からのアドバイス

この度のワークショップでは、『活動と利用の拠点施設』の整備のあり方に対するアドバイスを頂くため、小林寛子先生（東海大学経営学部観光ビジネス学科エコツーリズム研究室 教授）をお迎えしました。先生からは、「センターはみなさんが使う場として、また、利用する人にとっては何度でも訪れたい場所としていくため、ワクワク楽しみながら考えていきましょう」というアドバイスを頂きました。

第1回ワークショップ点描



「拠点施設」の使い方について考えよう



使い方の意見を発表しよう



小林先生のご講評

今後のワークショップの開催予定

第2回ワークショップ: 12月 3日(木) 19:00~21:00

第3回ワークショップ: 12月 17日(木) 19:00~21:00

○場所: 荒尾市役所 11号会議室 ○開場・受付開始: 18:45~ ※各回とも同じ

■お問い合わせ先:

『荒尾干潟“活動と利用の拠点施設”整備ワークショップ』事務局/株式会社ブレック研究所九州事務所 担当: 木寺・大道
〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名 2-4-19 TEL: 092-771-5211 FAX: 092-771-5330

■主催:

環境省 九州地方環境事務所 野生生物課 担当: 清永
〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 2-10-1 熊本地方合同庁舎B棟4階 TEL: 096-322-2413 FAX: 096-322-2447